

6次産業の 高付加価値化セミナー

～ブランド化と
バリューチェーン～

生産・加工・流通による一歩進んだ連携の形を探る!
農林水産物の価値を消費者に伝える方法とは?

食料品バリューチェーン推進協議会

検索

<http://tiiki.jp/fvc/>

参加費無料

参加ご希望の方は、裏面の申込書にてお申込ください。受付は開催日の1週間前までです(個別相談のお申込は2週間前まで、申込多数の場合は先着順)。

2/19
(木)

13:30~16:30 (13:00開場)

第1部 13:30~ 第2部 15:30~

会場 札幌全日空ホテル 23階 白樺の間 北海道札幌市中央区北3条西1-2-9 ※JR札幌駅すぐ

対象 農林漁業者・団体、食品メーカー、小売・飲食事業者、金融機関、行政関係者等

内容 【第1部】セミナー

- 1.基調講演「ブランドマーケティングと食料品バリューチェーン(仮)」 講師:明治大学大学院教授 上原征彦氏
- 2.講演「恵那川上屋の取組み(仮)」 講師:(株)恵那川上屋 代表取締役 鎌田真悟氏
- 3.講演「ハラル市場とその対策(仮)」 講師:(株)ブランド総合研究所 代表取締役 田中章雄氏
- 4.食料品バリューチェーン ハンドブックの活用方法

【第2部】相談会(希望者のみ)

- 1.農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)・6次産業化中央サポートセンター 個別相談会

※講師は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

開催趣旨

本協議会は、従来型流通における量・規格重視のサプライチェーンを超えて、食品事業者が有するマーケティング力や情報・通信技術等を活用し、農林水産物(1次産品)の有する固有の価値を発掘・付加して消費者に確実に伝達するバリューチェーンの構築に向け、その方策を検討するために設立されました。商品・サービスの高付加価値化、生産・加工・流通の各段階の連携方策等について、参加者の皆様にお考えいただく場として本セミナーを実施します。有識者による基調講演や実際の取組み事例を交えつつ、本協議会で実施した優良事例調査や検討会での意見交換の成果を発表し、全国に食料品バリューチェーンの考え方を普及していくことを目的としています。また、第2部では、農林漁業成長産業化ファンド(A-FIVE)の協力により、6次産業化中央サポートセンターに登録している6次産業化プランナー等による個別相談会を実施。農林水産業の従事者を主な対象に、連携の在り方や販路拡大や資金調達等のご相談に個別に対応します。

主催:食料品バリューチェーン推進協議会 後援:農林漁業成長産業化支援機構

*本セミナーは、国庫補助事業(農林水産省)「食料品バリューチェーン新展開構築支援事業」の一環として実施するものです。「食料品バリューチェーン推進協議会」は、食品と農林水産分野でバリューチェーン化を進める地域・団体等とその支援者等から構成され、情報交換や交流を行っています。株式会社ブランド総合研究所が事務局を運営しています。

「6次産業の高付加価値化」セミナー申込書(札幌会場)

お申し込み方法

以下のお申し込みご記入欄の必要事項をFAXもしくはE-mailにてお送りください。

お申し込み・お問合せ先

食料品バリューチェーン推進協議会事務局（株式会社ブランド総合研究所内）宛

FAX送信先 **03-3539-3013**

E-Mail **fvc@tiiki.jp**

お問合せ先(電話) **03-3539-3011**

お申し込み記入欄

フリガナ お名前			〒	—	
ご所属 (お勤め先)				お役職	
ご出席 人数	ご本人含む 名	電話			FAX
MAIL					
個別相談会への申込有無 申込多数の場合、先着順とさせていただきます。	個別相談会に（ 申し込む ・ 申し込まない ）				
ご相談内容（予定）					

講師の紹介



食料品バリューチェーン推進協議会
運営委員長 上原 征彦 (うえはら ゆきひこ)
(明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授)

東京大学経済学部卒業、日本勧業銀行(現みずほ銀行)、財流通経済研究所、明治学院大学経済学部助教授、同教授、ペンシルヴェニア大学客員教授を経て、平成16年より現職。専攻はマーケティング戦略、流通論。食料・農業・農村審議会会長(平成19年7月4日まで)、食料供給コスト削減検証委員会委員長を務めるなど、マーケティングの視点から農林水産業への提言を行う。主な著書に『経営戦略とマーケティングの新展開』、『マーケティング戦略論』、論文に『ブランドマーケティングと農商工連携』など。

株式会社恵那川上屋 代表取締役
鎌田 真悟 (かまだ しんご)

栗菓子の里、岐阜県恵那市に立地し、東京でも人気の菓子店。栗農家・お客様・菓子屋の三者が喜ぶ仕組みを追求。2014年に6次産業化優秀事例として農水省食料産業局長賞を受賞。

